

大学院医学研究科 看護学専攻

周麻酔期看護学分野

特定行為研修/術中麻酔管理領域（6区分 8行為）

看護学と麻酔科学を融合させた
アドバンストな周麻酔期看護師を育成します



科学的かつ実践的な
アプローチによる思考型の
教育課程プログラム



麻酔科・看護部手術室・
大学院看護学専攻の
コラボレーション



特定行為研修
術中麻酔管理領域
(6区分8行為)の修得

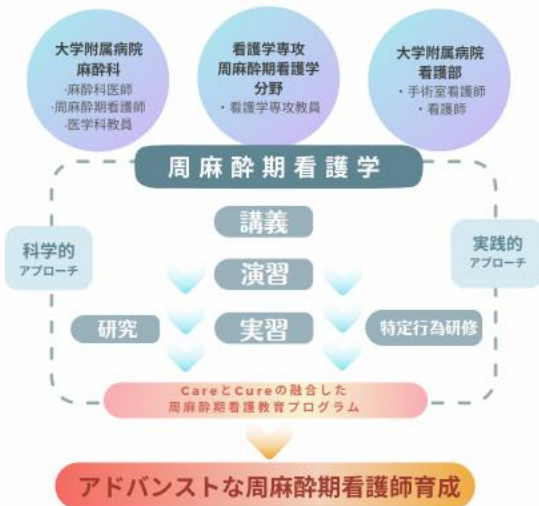
横浜市立大学大学院医学研究科
周麻酔期看護学分野
教授：赤瀬智子

〒236-0004
神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
Tel: 045-787-2743
Fax: 045-787-2743
E-mail: akase@yokohama-cu.ac.jp



周麻酔期看護師の育成

- 教育体制 -



麻酔科学は「手術侵襲から患者を守る」学問体系で、医学の専門の中でも特に看護学と親和性が高い分野です。諸外国では麻酔科看護師（Nurse Anesthetist）の存在はむしろ当たり前です。本学の周麻酔期看護コースでは、特定行為も含め、広く手術に関連した分野で医師と高いレベルで協働する看護師の育成を目指しています。

医学部 麻酔科学教室 教授 後藤 隆久

麻酔に専門性を持ち、手術や鎮痛鎮静管理に必要な患者さんに対し科学的にアセスメントできる看護実践能力を持つ周麻酔期看護師（特定行為の取得含む）を育成します。麻酔科学と看護学を融合した知識と技術から、患者さんを入院前から退院後までサポートすることを目指しています。



医学研究科 周麻酔期看護学分野 教授 赤瀬 智子

YCUの看護師特定行為研修

本学大学院周麻酔期看護学分野では、看護学を基盤とし、麻酔科学をはじめ薬理学、生理学、解剖学などの深い専門的知識と高い麻酔管理技術により周麻酔期における包括的ケアをおこなう看護師を育成しています。その一環として、術中麻酔管理に係る看護師特定行為（※）を学ぶ機会を提供して看護師のキャリアアップを行うことで、日々進歩する医療現場での看護の質の向上やチーム医療を推進しています。

※看護師特定行為：手順書により行う診療の補助となる行為であり、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が必要とされています。

履修内容

本学の特定行為/術中麻酔管理領域パッケージでは、手術前後の病棟管理業務や術前・術中・術後管理など一連の業務に必要なとされる高度な専門行為（6区分8行為）を習得することができます。

呼吸器

(気道確保に係るもの)

- 経口用チューブまたは経鼻用チューブの位置確認

栄養及び水分管理に係る薬剤投与

- 脱水症状に対する輸液による補正

呼吸器

(人工呼吸器に係るもの)

- 侵襲性陽圧換気の設定の変更
- 人工呼吸器からの離脱

術後疼痛管理

- 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与/投与量の調整

動脈血液ガス分析

- 直接動脈穿刺法による採血
- 橈骨動脈ラインの確保

循環動態に係る薬剤投与

- 持続点滴中の糖質輸液または電解質輸液の投与量の調整

大学院生の声



責任と高度な知識、技術を伴う業務を集中して体系的に身につけられる



患者さんの疼痛や鎮静管理に難渋する場面で適切な処置と判断ができるようになった

手術麻酔だけでなく、術前外来や術後訪問を通して患者さんに寄り添える自信がいった



応募を希望される方は研究室HPよりお問い合わせください

